



教育委員会だよりの

NEW

タイトルが **新しく** なりました！

込められた意味とは？

子どもたちの教育も、大人になってからの学びも、それぞれの個性を活かしながら、互いの目標や求めるものを尊重し合い、全体として虹のように調和がとれた教育を目指します。

虹を英語にしたrainbow^{レインボー}には「多様な」「さまざまな集団(人種)からなる」という意味もあります。性別・年齢・国籍などを問わず、様々な意見や考え方が発信され、「協働」する牧之原市を目指して。

編集者のコメント

リニューアルしたことで更に多くの方が牧之原市の教育に興味を持ってくれたら嬉しいです！

7色に輝く虹のように、将来が豊かになるよう希望を込めた名前です。

牧之原市の子どもたちが「なないろ」のように個々の力を輝かせ、牧之原市の未来を作っていってほしいです！

「なな」といえば七曜紋。七曜紋といえば「田沼意次」ですね！

Q. 市はどんな理念に基づき、教育について考えているの？

牧之原市

教育大綱

[平成28年度～令和元年度]

基本理念 ころざしを持ち 夢ある人づくり

教育大綱は、牧之原市の教育・学術・文化の振興に関する様々な施策について、その根本となる考え方や目標を示すものです。

▼ 気づき、考え、行動する人を育成します

自ら学び考え、行動する力／目標を達成する喜び、感動を育む教育／健康な体と心を育成

▼ 学ぶ意欲を高め、確かな学力をつける教育を進めます

国際理解／ICT活用／適正配置と学ぶ環境の整備

▼ 人を思いやり、人との対話を大切にする心を育成します

自立と共生の心を育む／ふれあいを大切に

▼ 豊かさが実感できる教育を推進します

歴史や文化財を大切に引き継ぐ／自然を愛し郷土愛を育む／本との出会いを大切に／スポーツ活動の充実

▼ 地域活動の充実を図ります

生涯学習活動の推進／年代を超えた交流

ぼくまち開催!

【KIDSTOWN ぼくらのまちのはら（愛称：ぼくまち）】は、「こどもによる こどものためのまちづくり」をテーマに、遊びを通して社会の仕組みを学びます。

いろいろなものや人との関わりを通して、自主性や主体性を育むことで郷土愛あふれる牧之原市の未来を担う子どもへ成長してくれることを目的として開催します。

まちをつくる「こどもスタッフ」は7月からミーティングを重ね、「お店をつくる」「商品をつくる」「仕事を探す」「働く」「給料を払う・もらう」「買い物をする」「税金を払う・もらう」ことを学び、考えます。あわせて、選挙で『ぼくまち市長』を選びます。

また、「こどもスタッフ」が作りあげた「ぼくまち」で当日働いたり遊んだりできる「ぼくまち市民」は、小学1年生から中学3年生までの子どもが参加できます。



まちのはら



8月17日（土）18日（日）、8時から相良総合センターい〜らで「ぼくまち」、オープンです！！
詳しくは『ぼくらのまちのはら』で検索し、ホームページをご覧ください。

まきのほらキッズ夢サポーター

事務局：090-3830-3373

メール：info@boku-machi.net

（社会教育課：53-2646）



English Camp 2019

イングリッシュキャンプとは、子どもたちにグローバル社会をたくましく生き抜く力を身に付けることを目的とした「英語力向上サポート事業」の1つです。

今回は、静岡空港で実際に日本を訪れた外国人や、地元企業に勤める外国人労働者に英語でインタビューなどを行う中で、コミュニケーションをとる楽しさを体感します！

▼日にち：8月6日（火）・7日（水）

▼対象：市内小学5年生～中学3年生

今年は全ての児童生徒が2日間連続した活動を行います。

※募集は締め切りました。

（学校教育課 53-2645）

司書教諭・学校図書館担当者・公共図書館連絡会

6月24日に相良庁舎で、図書館や司書教諭の役割について学び、今後の学校図書館の運営に活かすための連絡会を行いました。

講師は、市の図書館整備に携わる社会教育課の水野秀信司書が務め、静岡市の事例紹介や学校図書館の役割と公共図書館の関わりについて講話がありました。

その後、学校司書担当校ごとのグループに分かれ学校図書館担当者と学校図書館司書、公共図書館の担当で情報共有を行い、連携について協議しました。

（学校教育課 53-2645）





エアコン設置しました！

—全小中学校でこの夏からエアコン稼働—

6月27日に川崎小学校でエアコンの引き渡し式が開かれ、エアコンの使用が開始されました。

これにより、市内全小中学校の普通教室にエアコンが整備されたこととなります。

快適な環境で今まで以上に
学びに力が入っちゃいますね！

集中でき
るかな～？

学校生活、もっともっと
楽しんでください！

教育総務課(53-2642)



感謝状贈呈 社会教育委員長へ

6月20日(木)に静岡県社会教育委員連絡協議会にて、牧之原市社会教育委員会委員長 鈴木一行さんへ感謝状が贈呈されました。

鈴木一行さんは同協議会において、平成22年度から平成30年度まで9年間に渡り、副会長を務めあげ、県内の社会教育の発展に尽力されました。



今年度、副会長を退任することとなり、今回の贈呈は、長年の功績を称えるものとなります。

社会教育課(53-2646)

図書館「夏休みおはなし会」開催

絵本や紙芝居など…楽しいおはなしの後は、みんなで工作！夏休みの思い出作りにぜひ、みんなで図書館に遊びに来てください

<相良図書館>

日時：8月8日(木)
13:30~14:30
会場：相良保健センター2階
講師：相良高校科学部
【厚紙を使ってハンド
スピナーを作ろう！】

<榛原図書館>

日時：8月9日(金)
10:00~11:00
会場：榛原文化センター
講師：トーク地頭方館長
原口茂喜さん
【コマを使って目の錯覚に
だまされよう！】

【募集定員】20名

【申込方法】相良・榛原図書館にて配布の申込用紙に必要事項を記入の上、いずれかの図書館へ提出。

【申込締切】8月2日(金)

社会教育課(53-2646)

い〜らコンサートピアノ 一般開放

音響反響板を設置したホールで、コンサートピアノを弾いてみませんか？

【開放日】9/27(金)・28(土)・29(日)

2020/1/24(金)・25(土)・26(日)

【時間】(金) 午後4時~午後9時(1時間単位)

(土日) 午前9時~午後5時(1時間単位)

【会場】相良総合センター「い〜ら」ホール

【参加方法】社会教育課に直接、または電話により申込み

【参加費】500円(ピアノ2台1000円)

※未就学児、小学生は保護者の付き添いが必要

社会教育課(53-2646)

子どもまきのはら塾 活躍紹介

子どもまきのはら塾では、地域の大人が先生となり、小学生を対象に、様々な講座を行っています。

その中の1つ、「囲碁教室」を紹介します。毎週土曜日に榛原文化センターで活動を行っており、初めての人でも、先生がやさしくわかりやすく指導してくれます。本やパソコンソフトを使っての練習も行っています。昨年度は囲碁大会に出場する参加者の方もいらっしゃいました。

【実施講座】

囲碁・将棋・茶道・コーラス・こて絵・パズル・フラワーアレンジ・クッキング・バレエ・自然や文化体験など



大会で入賞した 清水小春さん(勝間田小) 森澤真優菜さん(川崎小)

社会教育課(53-2646)

令和元年度市史料館特別展「大意次展」開催

【開催期間】10/19(土)~12/1(日)

※10/15(火)~18(金)準備のため休館予定

【時間】午前9時~午後4時

【会場】牧之原市史料館

【入場料】無料

初公開となる田沼意次侯の直筆書状3点をはじめ、数々の貴重な資料を展示します。是非、ご来館ください。

社会教育課(53-2646)



細江にある認定こども園みのり幼稚園。目に飛び込んでくるのは、子どもたちのとびっきりの笑顔が映える青い芝生の園庭。転んでも芝生のクッションでへっちゃらです。耳を澄ますと部屋からは、子どもたちの歌声や鍵盤ハーモニカの音色、時には英語の歌も聞こえてきます。

体操教室では、汗だくになるまでめいっぱい体を動かします。おなかが減ったらミールケアさんの作ってくれたほっかほかの美味しい自園給食。ミールケアさんは、食育活



動にも熱心で、ピザやおにぎり作り、みそやだし作りまで教えてくれます。そして、園でも田植えから稲刈りなど、食卓に届くまでの過程を、時間をかけて学んでいきます。

また、今年度より、幼、保、こども園では全国初となる「読書通帳機」も導入しました。知識と感動の思い出の記録をたくさんたくさんためていきます。

みのり幼稚園のすべての活動は、教育目標の5つ（考える、創造する、がんばる、成長する、生きる）の力を育てることにつながります。そして、私たち職員一同、子どもたちが将来どんなはなにもなれるよう、全力で園児の成長を支えています。



便利な世の中だからこそ

インターネットや電子メールなどによる情報伝達サービスが進展し、自分の思いや情報を伝えるのに、至って便利な世の中になりました。瞬時に相手に情報が届けられるよさがある一方で、些細な誤解から、大きなトラブルに発展するケースも稀ではありません。

学校では、情報活用能力を身に付ける活動や情報モラルの学習を行っています。子どもたちには、便利さの裏に潜む怖さも知った上で、情報機器を活用してほしいと願っています。

情報化社会にあって、コミュニケーション不足によるトラブルを避けるためにも、時には直接会って話し合うことも含め、普段から相手によく伝えようとする心掛けを忘れてはならないと思います。

教育長 橋本 勝



編集後記

「まずは疑ってみる！」最近大切にしている言葉です。疑うなんて、人間不信なのですか？とか言われそうですが、そういう意味ではありません。自分自身が当たり前と思ってきたことが、果たしてこれからも通用するのか？ということに疑うべきだという意味です。昭和の後半に生まれた私ですが、時代の流れの中で価値観や常識の変化をいくつも経験してきました。

現在の小中学生が社会の第一線で活躍する頃にはどんな世の中になっているのか？彼らに必要な能力、知識、技能はいったい何なのか？数世代前の教育を受けてきた私たちが本当に彼らに教えるべきことはどういうことであるべきなのか？日々頭をフル回転させて考える必要があると感じる今日この頃です。

編集委員長 澤田 衛

